

2024年6月28日

各位

株式会社みなと銀行
みなとキャピタル株式会社

「みなと成長企業みらいファンド3号投資事業有限責任組合」の設立について

りそなグループのみなと銀行(社長 武市 寿一)及びみなとキャピタル(社長 山崎 浩司)は、りそなキャピタル(社長 相原 直也)と共同で「みなと成長企業みらいファンド3号投資事業有限責任組合」を本日設立しました。

みなと銀行は2017年12月に「みなと成長企業みらいファンド」を、2020年9月には「みなと成長企業みらいファンド2号」を設立し、神戸医療産業都市進出企業や新素材製造企業、大学発ベンチャー企業などに幅広く出資してきました。

本ファンドは「みなと成長企業みらいファンド2号」の後継ファンドとして、引き続き地元のベンチャー企業等の成長をサポートしていきます。

【ファンドの概要】

名 称	みなと成長企業みらいファンド3号投資事業有限責任組合
設 立 日	2024年6月28日(金)
投 資 対 象	原則、次世代分野のミドル・レイターステージ*のベンチャー企業 およびスタートアップ企業
フ ァ ン ド 総 額	5億円
出 資 者	みなと銀行 (有限責任組合員) 460百万円 りそなキャピタル (有限責任組合員) 10百万円 みなとキャピタル (無限責任組合員) 30百万円
存 続 期 間	8年間
フ ァ ン ド 運 営 会 社	みなとキャピタル

*事業が軌道に乗り、売り上げが増加し単年度損益が黒字になってきたような段階がミドルステージ。その後の安定した成長と収益化が実現された段階がレイターステージ。

以上